

## 児童防犯教室

～ 6月2日(木)実施 ～

これまでも勉強してきた内容ですが、年に1度、先生からではなく、おまわりさん(千曲警察署生活安全課・屋代駅前交番)からお話を聴くと、改めて大切なことを学ぶことができます。不審者に会うことはめったにないことですが、そのときは今日勉強したことをすぐ行動に移せるようにしてください。



「いかのおすし」をビデオで確認しました!

合言葉「いかのおすし」の意味を復習しました。とっさのときは思い出している余裕はありませんから、普段から心にとめておきましょう。



3年生以上は、いざというときの身の守り方を教えてもらいました。

自分を守る方法を教えてもらいました!

家でも練習してみてください。

**間合い**：手を伸ばしても届かない距離を保つ。

**大声**：一番の武器は大声。普段から大きな声が出るように練習。防犯ブザーも必ず携帯。

**逃げる**：抱きつかれたらしゃがむ。ランドセルは外して逃げる。



おうちでも、不審者への対応のご指導をお願いします!

- 【登校時】** ・自由登校期間は、近所の友達と誘い合って登校しましょう。  
 ・通学路を通りましょう。 ・防犯ブザーを持ちましょう。定期的に点検を!
- 【帰宅後】** ・人通りの少ない場所、危険な場所等では遊ばないようにしましょう。  
 ・外出時は「だれと」「どこへ」「何をしに」「いつ帰る」を伝えて出かけましょう。
- 【もしものとき】** ・声をかけられても、近づかない、ついていかない、車に乗らない。  
 ・危険なときは、大声で助けを呼び、近くの家に向けこみましょう。  
 ・不審者が車に乗っていたときは、ナンバーを覚え、忘れないうちにメモをしましょう。  
 ・不審者に会ったときは、すぐにおうちの人などに知らせ、通報してもらいましょう。
- 【電話の対応】** ・知らない人からの電話に、自分の家の住所や友達の電話番号等を教えないようにしましょう。 祖父母の方にも、個人情報をお伝えください。

## なかよし週間（5/30～6/4）の取組から

「友達とふれあうよさ」を感じようと、春のなかよし週間が行われています。ご家庭でも、人権にかかわる話し合いをしてみましょう。

おはよう  
ございます！

### やしろレンジャーのあいさつ運動

朝、昇降口を入ると、やしろレンジャーが校舎内を回って、「おはようございます」とあいさつをしてくれています。「赤、青、緑、黄、ピンクの5人全員に会ってあいさつができたよ」と、大喜びで報告してくれた低学年児童もいました。友達との元気のよいあいさつから一日が始まることで、なかよしの輪が広がります。



ジャンケン  
ポン！

### ふれあい委員会による児童集会

「ふれあい集会」では、委員会の進行により、全校児童が「船長さんの命令」「動物狩りに行こうよ」「ジャンケン列車」のゲームを行いました。学年の枠を越えて、大勢の友達とのふれあいを楽しみました。中には、初めての友達だと、仲間が見つ

つからなかったり、ジャンケンができなかったりという子どももいます。周りの子が、自然に誘ってくれている様子もありました。そう簡単に、人の中に入っていきことのできない子もいて当然。あせらず、友達のやさしさに助けられながら、人とのかかわり方を学んでいってほしいものです。

授業では、「あけぼの」等の副読本を活用して、人権教育をすすめています。また、相談旬間（5/30～6/10）もあわせて設定し、担任の先生と児童一人ひとりが懇談をする時間を確保しています。心配なことがあれば、ご相談を！

先日、千曲市学校教職員対象人権教育研修会に参加し、高橋典男氏（NPO法人 人権センターながの 事務局長）の講演を聴きました。部落差別について「結婚を認められず、別れざるを得なかった・親子関係や親戚関係が修復できないものになってしまった」といった現在のお話を聴き、いまなお厳しい現実があることを改めて知らされました。たとえ今ひどい差別をされていなくとも、いつ差別をされるかと、いつも心に重石を抱えて、生きている方々がいます。「部落問題は過去の問題」「そっとしておけば差別はなくなる」という意識では、永遠に差別はなくなりません。私自身、簡単に人を差別し、また、差別されたときはそれをはねかえすことのできない弱さをもった存在です。研修をし、少しでも人権感覚を研ぎ澄ませていかなければと感じさせられました。